

上級相当例題
林業－2

トランシット測量において生じる水平角観測の誤差に関する次の記述 a～d のうちには、望遠鏡の正位・反位の観測値の平均をとることによって消去することができるものが二つある。それらを選んでいるのはどれか。

- a. 視準軸が水平軸に直交していないことによって生じる誤差
- b. 平盤気泡管が鉛直軸に直交していないことによって生じる誤差
- c. 目盛盤の刻み間隔が均等でないことによって生じる誤差
- d. 水平軸が鉛直軸に直交していないことによって生じる誤差

- 1. a, b
- 2. a, c
- 3. a, d
- 4. b, c
- 5. c, d

正答 3
